

音楽科を学ぼう

1 音楽科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

・各学年の目標

第1学年
<ol style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
第2学年及び第3学年
<ol style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

2 指導計画

学年	学習内容	学習する曲
1 (45時間)	表現 <ul style="list-style-type: none"> 歌唱－歌唱表現 器楽－楽器の奏法 創作－簡単な節づくり 鑑賞 我が国の音楽と世界の諸民族の音楽	<ul style="list-style-type: none"> 校歌 アルトリコーダー練習曲 合唱コンクール合唱曲 主人は冷たい土の中に 浜辺の歌 赤とんぼ 春 箏曲「六段の調」「さくらさくら」 魔王 雅楽「平調越天楽」 など
2 (35時間)	表現 <ul style="list-style-type: none"> 歌唱－曲にふさわしい歌唱表現 器楽－曲にふさわしい器楽表現 創作－簡単な旋律づくり 鑑賞 我が国の音楽と世界の諸民族の音楽	<ul style="list-style-type: none"> 翼をください 夏の思い出 アルトリコーダー練習曲 合唱コンクール合唱曲 荒城の月 サンタルチア 交響曲第5番八短調 「フーガト短調」 オペラ「アイーダ」 歌舞伎「勧進帳」 など

3 (35時間)	<ul style="list-style-type: none"> 花 花の街 早春賦 アルトリコーダー練習曲 合唱コンクール合唱曲 帰れソレントへ ボレロ ブルタバ(モルダウ) 能「敦盛」 尺八楽「巢鶴鈴慕」 など
-------------	--

3 音楽科の学習のしかた

中学校の音楽では、生涯を通して音楽を愛好し、音楽活動の楽しさや喜びを得て、豊かな情操を養うことを目指しています。授業の内容は、表現及び鑑賞の活動に分けられます。

表現の活動

- 歌唱…一人で歌う独唱、みんなで同じ旋律を歌う斉唱、各パートに分かれてハーモニーをつくる合唱などを行います。特に、合唱練習では、リーダーを中心に意見を出し合いながら、協力して曲を創り上げます。
- 器楽…リコーダーを中心とした楽器や日本の楽器などを使って、一人で演奏したり、グループアンサンブルや合奏をしたりします。
- 創作…簡単な旋律づくりをし、イメージしたことを自由に音で表現する活動などを行います。

鑑賞の活動

- 鑑賞…すすんで音楽を聴いて、それぞれの音楽のよさや美しさを感じ取り様々な音楽に親しむ活動を行います。また、感じ取った事を、自分の言葉、絵(イメージ図)や色等で表す力を身に付けます。

・ピアノを習うなど以前から音楽に関わっていると、楽譜を読む力などを活動に生かすことはできますが、**中学校の音楽の活動の中でどのように取り組んでいるか**が一番大切です。

4 音楽科の授業に必要なもの

- 教科書(音楽・器楽)
- 音楽ワーク
- ファイル
- 合唱曲集
- アルトリコーダー
- 筆記用具
- 袋に入れて(1つにまとめて)、学校に置いておく。

5 音楽科の評価の観点及び評価・評定の方法

観点項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
観 点 項 目	音楽について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。	音楽に親しみ、音楽をすすんで表現し、鑑賞しようとしている。	
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 実技テスト 定期テスト ワーク、プリント 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 実技テスト 楽譜の書き込み 定期テスト ワーク、プリント 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 実技テスト 鑑賞の態度 ワーク、プリント 	
評 価	十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	
評 定	3つの観点を総括して、5段階で評価します。			
	5 十分満足できるもののうち特に 程度が高い	4 十分満足できる	3 おおむね満足できる	2 努力を要する
			1 一層努力を要する	